

報道関係各位

5月29日(土)、30日(日) 陶芸ワークショップ  
**若手陶芸作家 新里明士ー光のうつわー**  
中国の蛸手技法から生み出された独自の透かし技法に迫る

気鋭の人気作家 新里明士氏による、陶芸ワークショップを開催します。代表作品は、シャープな形の真っ白な磁器土に、無数の穴がリズムよく連なる「光器」。中国陶磁に魅せられながら、独特の形と技法を生み出すに至った新里氏のロクロでの成形や、「蛸手」技法による透かし模様の秘密に迫ります。作品が醸し出す、幻想的で凛とした雰囲気、スライドレクチャーと公開制作で探っていただきます。

講師：新里明士 (にいさと あきお)  
日時：2010年5月29日(土)、30日(日) 11:00~17:00  
※各日1時間程度のお昼休みをはさみます。  
場所：アート・ビオトープ那須 陶芸スタジオ  
受講料：各日8,000円(焼成費込/税込・送料別)  
宿泊料金：シングル、ダブル12,600円(1泊1名様。プチモーニング付/税込)  
※昼食は、ワークショップ料金に含まれておりません。  
※29日夜には、講師を囲んで食事会を開催します。



作品名：「光器」

ースケジュール

**5月29日(土) スライドレクチャー/公開制作I/ワークショップI**

新里明士氏の思考と作品の変遷を、スライドレクチャーで勉強します。その後、公開制作Iでは実際に、独自の蛸手技法を披露していただきます。みなさんにはワークショップIで、鑄込みの器に穴を開けて、コップを2つ制作していただきます。2日間受講される方は、ボウル形にも挑戦いただけます。

**5月30日(日) 公開制作II/ワークショップII**

公開制作IIでは、磁器土の特性を学びつつ、大変難しいとされる磁器土のロクロ技法を見学します。また、素焼き済みの作品に、どのように釉薬を施していくのかを、レクチャーしていただきます。午後のワークショップIIでは、昨日穴を開けたご自身の器に、施釉をして作品を完成させましょう。

ープロフィール

- 1977年 千葉県生まれ
- 2001年 多治見市陶磁器意匠研究所修了
- 2002年 朝日現代クラフト展 (大阪)
- 2003年 個展(サボア・ヴィーブル/東京)
- 2004年 “非常のオブジェー現代工芸の11人”(東京国立近代美術館工芸館)  
“MINO CERAMICS NOW”(岐阜県現代陶芸美術館)
- 2005年 ファエンツァ国際陶芸展 新人賞 (イタリア)
- 2008年 第8回国際陶磁器展美濃 審査員特別賞 (岐阜)  
第3回パラミタ陶芸大賞展 大賞(パラミタミュージアム/三重)  
SOFA CHICAGO 出品
- 2009年 第3回菊池ビエンナーレ 奨励賞(菊地寛実記念智美術館/東京)
- 2010年 新里明士展と新年の室礼(NIKI ギャラリー冊/東京)



■アート・ビオトープ那須概要

住所：〒325-0303 栃木県那須郡那須町高久乙道上2294-3 TEL:0287-78-7833(代表)

事業内容：自然と感性が交わる創造の小さき庭「アート・ビオトープ那須」は、陶芸工房、ガラス工房を備えた長期滞在型レジデンス。那須の豊かな自然と創造活動を楽しむ機会を提供。陶芸やガラス作家によるワークショップも季節折々に開催する他、自然体験ワークショップ、夏には山のシューレ(学校)が毎年行なわれる。また、アーティスト・イン・レジデンス・プログラムで作家が本格的に滞在し、創作する場でもある。

■ 本資料に関する報道機関からのお問い合わせ

広報窓口：片山亜香梨 ([a-katayama@nikiresort.jp](mailto:a-katayama@nikiresort.jp))

住所：東京都渋谷区大山町 45-18 代々木上原ウエストビル1F Tel:03-3466-5818/Fax:03-3466-5902